

議会トピックス

新型コロナウイルスの対策

特別委員会が市長に提言

令和2年8月7日に新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会の則武委員長、難波副委員長が正副議長同席の下、提言書を大森市長へ提出しました。内容は、少しでも早く感染者を特定しクラスターの発生を防止するためPCR検査体制を拡充する、岡山市全体で感染拡大の防止に取り組んでいく機運を醸成するため市長から市民に対して強いメッセージを発信するなどの3項目です。



議員報酬および旅費の減額

新型コロナ対策に役立てる財源として活用するため、令和2年6月定例会市議会で関係条例の一部改正を行い、9月定例会市議会では議員報酬および旅費を2,471万円減額しました。

議員研修会を開催



令和2年9月24日に本会議場で市議会議員研修会を開催しました。横浜市会から議会局長を招き「横浜市会BCP（業務継続計画）について」と「横浜市新市庁舎（議会議事堂）について」の講演を行いました。

大規模災害時の議会の体制、議会・議員の役割や新庁舎の建て替えに伴う議会棟のあり方を考える上で、大変参考になりました。

ペーパーレス会議を試行

紙資料の削減および職員の事務負担軽減などを図り、効率効果的な議会運営を進めるため、令和2年8月20日の議会運営委員会からタブレット端末によるペーパーレス会議の試行を開始しました。11月定例会市議会から総務委員会でも試行を予定しています。



決算を各常任委員会で審査

令和元年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算および剰余金処分議案が令和2年9月定例会市議会に提案されました。今までは各決算審査特別委員会を設置していましたが、予算と決算を同一の委員会で審査することで、さらに充実した議論ができるように、令和元年度の決算より各常任委員会で審査することとなりました。